

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月29日

上場会社名 SBIリーシングサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5834 URL <https://www.sbils.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 公平
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉原 寛 TEL 03(6229)1080
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（決算説明動画を公開予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,470	△80.9	1,223	13.8	1,207	14.7	817	8.9
2024年3月期第1四半期	12,944	36.1	1,074	△13.3	1,052	△14.0	751	3.2

（注）包括利益 2025年3月期第1四半期 413百万円（△28.3%） 2024年3月期第1四半期 576百万円（△43.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	105.19	103.78
2024年3月期第1四半期	96.58	96.56

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	89,362	20,750	23.2
2024年3月期	75,700	21,114	27.9

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 20,732百万円 2024年3月期 21,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		0.00	—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	0.7	5,700	7.3	5,300	7.2	3,650	5.9	469.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	7,776,800株	2024年3月期	7,776,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	74株	2024年3月期	74株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	7,776,726株	2024年3月期1Q	7,776,800株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明資料の入手方法について)

当社は、決算説明動画(録画形式)を当社ウェブサイトにて公開する予定です。
決算説明資料につきましても当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済においては歴史的な円安水準や消費者物価の上昇が続いており、また、海外においては中国経済の減速、中東情勢やウクライナ情勢等、当社グループを取り巻く国内外の社会経済環境は依然として楽観できない状況が続いております。

当社グループの事業領域である航空業界におきましては、航空旅客需要は着実に回復し、各国主要航空会社の業績がコロナ禍前の水準を上回る一方、燃料価格の高止まりやサプライチェーンの回復、人材不足や継続的な環境対策への取り組み等、多くの経営課題を抱える状況が続いております。

海運業界におきましては、引き続き中東情勢やウクライナ情勢の影響を受けており、LNG船やタンカー市況、運賃は引き続き堅調に推移しております。また、パナマ運河の渇水に伴う通行規制は、やや改善に向かっているものの、今後も地政学的リスクや各種規制動向について注視していく必要があります。

このような環境の中、商品組成においては、船舶ファイナンス世界大手のBNPパリバ銀行との協業により、船舶JOLCO案件の組成を強化してまいりました。今四半期においては、海運大手Capital Product PartnersとのLNG船案件を組成することとなりましたが、本案件は環境規制に対応した最新鋭の高性能エンジンを搭載したLNG船案件であること、国内大手ガス事業者に長期間定期用船される案件であること、投資家に対してESGにつながる投資機会を提供できる案件であること等、意義ある案件組成となりました。一方、JOL商品の組成については、欧米の優良エアラインをレシーとする案件組成に取り組んでおりますが、機材納入の遅れから当初見込んでいたスケジュールに遅れが生じております。引き続き、投資家にとって魅力ある商品を提供すべく案件組成に注力してまいります。

商品販売におきましては、JOLCO商品は、前期末に十分な商品在庫の積み上げを行ったこと、営業体制の整備・強化を行ったことにより、四半期ベースで過去最高の販売金額となりました。JOL商品は、今四半期における販売実績はありません。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,470百万円（前年同四半期比80.9%減）、営業利益1,223百万円（同13.8%増）、経常利益1,207百万円（同14.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益817百万円（同8.9%増）となりました。

また、商品組成金額は89,654百万円（前年同四半期比24.4%増）、商品出資金等販売金額は23,395百万円（同23.3%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は78,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,512百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,918百万円、商品出資金が6,522百万円それぞれ減少しましたが、販売用航空機等が21,794百万円増加したことによるものであります。

固定資産は10,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円増加いたしました。これは主に、減価償却により賃貸資産が164百万円減少しましたが、繰延税金資産が308百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は89,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,662百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は55,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,152百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が810百万円、契約負債が1,332百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が14,400百万円、コマーシャル・ペーパーが1,000百万円、未払金が681百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は13,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金125百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は68,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,026百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益817百万円、剰余金の配当777百万円及び繰延ヘッジ損益の減少404百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

機材納入の遅れによりJOL商品の販売実績がないため、当第1四半期連結累計期間の売上高が前年同四半期を大幅に下回っておりますが、通期の販売計画について変更はありません。

よって、連結業績予想については、2024年4月26日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,653	10,735
営業未収入金	190	332
商品出資金	50,985	44,463
販売用航空機等	—	21,794
その他	1,100	1,117
流動資産合計	64,930	78,443
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	8,171	8,006
貸貸資産合計	8,171	8,006
社用資産		
建物附属設備	59	57
工具、器具及び備品	3	3
社用資産合計	62	61
有形固定資産合計	8,233	8,067
無形固定資産		
のれん	257	244
ソフトウェア	37	42
無形固定資産合計	294	286
投資その他の資産		
関係会社株式	285	301
関係会社出資金	83	87
繰延税金資産	1,740	2,048
その他	132	127
投資その他の資産合計	2,241	2,564
固定資産合計	10,769	10,919
資産合計	75,700	89,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	32,999	47,400
コマーシャル・ペーパー	2,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	502	502
未払金	216	897
未払法人税等	1,417	607
契約負債	3,518	2,186
賞与引当金	136	174
その他	365	540
流動負債合計	41,155	55,308
固定負債		
長期借入金	13,402	13,277
資産除去債務	27	27
固定負債合計	13,430	13,304
負債合計	54,585	68,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,032	1,032
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	16,179	16,219
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,123	21,163
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△26	△431
その他の包括利益累計額合計	△26	△431
新株予約権	17	17
純資産合計	21,114	20,750
負債純資産合計	75,700	89,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	12,944	2,470
売上原価	11,167	267
売上総利益	1,776	2,203
販売費及び一般管理費	701	980
営業利益	1,074	1,223
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
商品出資金売却益	19	136
為替差益	67	19
その他	—	0
営業外収益合計	86	156
営業外費用		
支払利息	97	162
支払手数料	11	9
営業外費用合計	108	171
経常利益	1,052	1,207
税金等調整前四半期純利益	1,052	1,207
法人税、住民税及び事業税	179	519
法人税等調整額	122	△129
法人税等合計	301	389
四半期純利益	751	817
親会社株主に帰属する四半期純利益	751	817

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	751	817
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△174	△404
その他の包括利益合計	△174	△404
四半期包括利益	576	413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	576	413

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

これらによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社においては、オペレーティング・リース事業に必要な運転資金の効率的な調達を行うため、金融機関と当座貸越契約及び貸出コミットメントライン契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	67,550百万円	69,050百万円
借入実行残高	32,999	47,400
差引額	34,550	21,649

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	169百万円	168百万円
のれんの償却額	13	13

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、オペレーティング・リース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。